

(2) ロンドンプロトコル2024とは何か

田中和美(群馬大学大学院医学系研究科
医療の質・安全学講座教授)

(3) 進化するRCAの使い方

栗田健郎(千葉大学医学部附属病院医療安全管理部部長補佐(千葉大学大学院医学研究院救急集中治療医学))

(4) 当事者参加なしの院内検討会について

ー当院における臨時医療の質・安全管理委員会ー
大内邦枝(千葉県がんセンター医療の質・安全管理部診療部長)

(5) 当事者参加型事例検討会の実践と安全文化の深化
齊藤正昭(自治医科大学附属さいたま医療センター医療安全・渉外対策部准教授)

※教育セミナー2「医療安全」への参加は事前参加登録制です。第28回学術総会ホームページからお申し込みください。

※教育セミナー2「医療安全」を受講された参加者には履修証明を発行いたします。

◆シンポジウム

メインシンポジウム

2040年に向けて健康寿命をさらに延伸させるための戦略は何か？

座長：津下一代(女子栄養大学特任教授)

室原豊明(名古屋大学医学部附属病院循環器内科教授)

基調講演

予防から医療まで、切れ目ない対策で健康寿命延伸を！

津下一代(女子栄養大学特任教授)

(1) 「脳卒中で寝たきり」にさせないための最新治療法
宮地 茂(愛知医科大学病院脳神経外科特命教授)

(2) 中山間地における健康寿命延伸の試み

ーへき地中核病院を中心にー

早川富博(愛知県厚生農業協同組合連合会足助病院名誉院長)

(3) アメーバ型心不全総合支援愛知県プロジェクトによる心不全対策について

築瀬正伸(藤田医科大学病院循環器内科教授)

(4) 健康寿命延伸への歯科からの貢献

嶋崎義浩(愛知学院大学歯学部口腔衛生学講座教授)

1. 災害大国における医療マネジメント

座長：北川喜己(公益社団法人日本海員掖済会名古屋掖済会病院院長)

今村康宏(医療法人済衆館済衆館病院理事長)

(1) 被災時と日常の病院経営～災害対応と日常経営の近似性～

阿南英明(地方独立行政法人神奈川県立病院機構本部理事長)

(2) 災害における医療マネジメントの本質と情報管理
近藤久禎(国立健康危機管理研究機構危機管理・運営局DMAT事務局次長)

(3) 西三河南部 碧南地区における災害対策
～地域の災害セーフティネット構築の取り組み～
小林清彦(愛生館グループ代表)

(4) 災害を踏まえた医療マネジメントの将来
山本尚範(名古屋大学医学部附属病院救急科診療科長)

2. 若手医師の採用・養成を通して病院活性化へ

座長：福岡敏雄(公益社団法人大原記念倉敷

中央医療機構倉敷中央病院副院長)

杉野安輝(トヨタ記念病院副院長)

(1) 若手医師教育に対する医療安全研修の実践

塩津昭子(公益社団法人大原記念倉敷中央医療機構倉敷中央病院HQM推進センター患者安全推進室医療安全管理者・看護師長)

(2) 教育をリソースとした地域病院活性化への挑戦

神野 敦(札幌医科大学総合診療医学講座助教)

(3) 臨床研修医が病院全体を活性化させる

田中孝正(トヨタ記念病院医師臨床研修プログラム責任者)

(4) 「未熟さは力である」ー若手医師を診療の

中核に据えたチーム医療と組織変革ー

胡田 健一郎(組合立諏訪中央病院総合診療科医長)

3. 目の健康寿命を延伸する医療マネジメント

座長：西口康二(名古屋大学医学系研究科眼科学分野教授)

平野耕治(トヨタ記念病院眼科科部長)

(1) 高齢化社会に向けたアイフレイル啓発活動

稲富 勉(国立研究開発法人国立長寿医療研究センター感覚器センターセンター長)

(2) 多治見スタディとライトアップinグリーン運動

岩瀬愛子(たじみ岩瀬眼科院長)

(3) 目の健康寿命を支える眼底検査

ー受診率向上に向けてー

近藤永子(眼科三宅病院副院長/日本眼科医会常任理事)

(4) 福祉現場におけるQOL向上や社会参加の促進に向けたロービジョンケアの取り組み

田中雅之(社会福祉法人名古屋市総合リハビリテーション事業団総務部総務部長)

4. クリティカルパスの教育と人材育成

座長：勝尾信一(特定医療法人千寿会つくし野病院名誉院長)

坂本すが(東京医療保健大学副学長)

(1) 体験型パス作成研修の実践から基礎知識と専門職連携教育(IPE)の必要性を考える

小林 美津子(社会医療法人財団慈泉会相澤病院クリニカルパス管理室主任)